

令和5年度 地方創生推進交付金事業

事業名	宇宙ビジネスを活用した米ブランド化計画（令和5年度～令和7年度）	交付対象 事業費	13,985 千円	交付金額	6,992 千円	千円
担当課 担当班	みらい創生課 企画・SDGs推進班					

**事業概要**  
宇宙に着目した米づくりを行うことで、他の生産地との差別化を図り、米の販売額の向上を目指す。衛星データを活用した米作りを構築するため、集落営農組織と、営農指導者等の育成も図りながら、土壌調査や米の生育調査と衛星データと結びつける。データに基づき、最も適正な時期に収穫した米をブランド化することで生産者の農業収入の向上や宇宙との関連事業で波及した新たな産業の創出する。将来的に、農家のスマートフォン等のタブレットで閲覧可能とする仕組みづくりを構築する。

**事業内容**  
**○衛星データを活用したブランド米づくり**  
 （現状を知る取り組み）  
**衛星データを活用した土壌調査**  
 町内50か所の土壌分析を行いました。（PHなど11指標）  
**生育調査**  
 町内18か所の生育分析を行いました。（タンパク質など4指標）また、収穫適期（刈取りが一番よいと考えられる時期）の予測も実施しました。  
**宇宙関連事業の伴走支援**  
 衛星データを活用した米のブランド化を実施するためのノウハウや事業の組み立てなどを支援してもらいました。

KPI	指標		現時点	2023年度	2024年度	2025年度	2026年度	2027年度	計
				増加分	増加分	増加分	増加分	増加分	
①農業経営体数		計画	947	3	3	4	1	5	16
		実績	-	3					3
②玖珠町基幹的農業従事者数(20～39歳)の人数		計画	27	3	3	5	1	1	13
		実績	-	3					3
③玖珠町での米価格(玄米)		計画	5,800	5,800	5,800	6,400	6,400	6,400	30,800
		実績	-	700					700
④町内での宇宙関連事業における新規起業者数		計画	0	0	1	1	1	1	4
		実績	-	0					0

町内の各ポイントにて土壌分析を行い、町全体の土壌状況の推計を行った。また、水稻の生育分析を行った。得られた情報の分析や活用を行い、ブランド米生産につなげる。

①については衛星データを活用した農業の省力化、効率化を図り、農業所得の向上を図るため、5年に一度行われる**農林業センサスの数値を活用することが妥当と考える。(2024年度＝令和6年度実施)**

②については、新たな産業の創出を行い、若者の転出者数を減らすことを目的としているため**国勢調査の数値を活用する。(2025年度＝令和7年度実施)**

③については、KPIの設定に誤りがあったが、変更できなため考えられないような計画数値となっている。

④については、宇宙に関連した事業の企業数はゼロであった。来年度から1社ずつ増加する計画であるが、計画達成には衛星データを活用する事業所等を誘致する必要があると考える。

2023年度  
(R5年度)  
KPIの達成・未  
達成に関する  
理由及び事業  
の見直し等